



2018年12月21日
DJI JAPAN 株式会社

DJI、赤外線カメラ搭載のドローン「MAVIC 2 ENTERPRISE DUAL」を発売

過酷な環境下でもアクティブに操作が可能、信頼性の高いツールで日常業務をサポート

民生用ドローンと空撮テクノロジーで世界をリードする DJI は、産業用ドローン Mavic 2 Enterprise Dual を発表しました。ビジュアルカメラと赤外線カメラを一つのユニットに統合し、厳しい現場環境でも安全かつ迅速に操作が可能な信頼性の高いツールとして、操縦者の業務をサポートします。

FLIR システムズ社と共同で開発した Mavic 2 Enterprise Dual は、DJI ドローン Mavic 2 シリーズのコンパクト設計を踏襲し、今年 10 月に発表した Mavic 2 Enterprise の特徴である多くの高度制御技術とアクセサリ拡張性も搭載されています。効率的なレポートと分析を行うため、Mavic 2 Enterprise Dual で温度を測定し、画像と温度データを容易に保存が可能です。公共施設の点検業務から緊急事態への対応といったさまざまな業務オペレーションや一刻を争う任務に必要な情報を即座に提供します。

「公共の安全を保持する活動や点検業務では、ドローンはすでに一般的になってきています。場所と時間を選ばず、簡単に導入できる信頼性の高い空撮ツールを使うことで、ユーザーはすぐに必要な情報を入手できます。DJI と FLIR は 2015 年に Zenmuse XT カメラを発表し、産業用ドローンの新たな分野を開拓しました。Mavic 2 Enterprise Dual を導入すれば、操縦者はより安全なオペレーションを多様な環境下で行う事が可能で、任務の達成に集中することができます」と DJI のストラテジックパートナーシップディレクター Jan Gasparic は述べています。

FLIR 赤外線カメラを搭載し、携帯性に優れたパワフルドローン

Mavic 2 Enterprise Dual は、可視光を捉える 4K センサーと、サーマル画像データを捉える FLIR Lepton[®] サーモグラフィーマイクロカメラを一つのユニットに収容した 3 軸ジンバルカメラを搭載しています。これら 2 つのセンサーにより、パイロットは夜間や霧、煙の立ち込める日中の複雑な環境下でも飛行させることができます¹。 DJI Pilot 飛行制御アプリの複数のインテリジェント表示モード

¹ 操縦者は国土交通省が定めるドローン飛行ルールを遵守してください。



から選択し、デュアルセンサーカメラのデータを可視化できます。

- **FLIR MSX®** – FLIRの特許取得済みMSX（マルチスペクトルダイナミックイメージング）は、忠実度の高い可視光カメラデータを赤外線カメラのデータにリアルタイムで統合する機能です。視覚的ディテールが協調されるため、肉眼ではすぐに確認できない重要なデータを素早く特定し、解釈することができます。
- **スポットメーター** – 対象物の平均温度が表示されるため、操縦者は安全な距離を保ちながら、重要な対象物の温度測定や危険な環境を判断することに役立ちます。
- **エリア測定** – 各エリアの平均温度、最低温度、最高温度および対応する場所を表示し、検査員が対象物を迅速に評価し、過熱しているかどうかを判断できます。
- **等温線設定** – 操縦者は、カスタムカラーパレットを使用し、表示させる特定の温度範囲を指定できるため、範囲内の対象物を、より高い対比で表示し、視認性を向上させます。この機能により、レスキュー隊が捜索救援活動で遭難者を特定したり、消防士が現場で火災現場でのホットスポットを特定したりできるように、プロファイルをカスタム化できます。さらに柔軟に対応できるようにカスタムプロファイル設定もあります。

「当社の最小サーマルマイクロカメラであるFLIR Leptonを搭載したMavic 2 Enterprise Dualは、サーマル画像処理機能をより多くのドローンに導入する重要な機会を提供します。世界をリードするプラットフォームを持つDJIとFLIRとの3番目のコラボレーション製品であり、サーマル画像が業界の基本機能となる重要な一歩となります」と、FLIRの社長兼最高経営責任者（CEO）Jim Cannon氏は述べています。

機能を追加できる拡張アクセサリ

Mavic 2 Enterprise Dualは、10月に発表されたMavic 2 Enterpriseのアクセサリ全てに対応しています。アクセサリはMavic 2 Enterprise Dualに確実に装着でき、DJI Pilot飛行制御アプリで操作できます。操縦者は、これらのアクセサリで空中からの通信や作業の新たな道を切り開くことができ、ドローンは映像ツールとしての役割を越え、カスタム可能なプラットフォームとして、ミッションの作業生産性を向上させます。



- **スポットライト** – 輝度 2,400 ルーメンのデュアルスポットライトで、暗闇や低照度環境下の作業をサポートします。スポットライトは、人命救助や点検業務において最適なツールです。
- **スピーカー** – 最大出力音量 100 デシベル(距離 1m)の拡声スピーカーで、ユーザーは最大 10 種類の録音したカスタム音声を再生できるので、人命救助などの緊急時に周辺付近への重要なコミュニケーション手段になります。
- **ビーコン** – 米国連邦航空局(FAA)の夜間適用免除基準を満たす M2E ビーコン(白色閃光等)は、最大で 3 マイル先(約 5km)からでも目視可能な明るいストロボライトを搭載しています。操縦者は、低照度環境下や夜間であっても、より安全に業務を遂行でき、また近くを飛行するドローンや航空機に対しても注意喚起します。

強化されたデータセキュリティ機能

Mavic 2 Enterprise Dual は、Mavic 2 Enterprise と同様、重要な業務における写真や動画、フライトログ、その他のデータを保護する新機能を備えています。産業向けの Mavic 2 Enterprise は、24GB の内蔵データストレージとパスワード保護機能を搭載しており、ドローンの機能と保存されたデータのすべてのアクセスへの強化を実現します。パスワード保護を有効にしている場合、ドローンの起動時、送信機とドローンの接続時やドローンの内蔵ストレージにアクセスした際に、パスワードの入力が求められます。これにより、ドローンに物理的な障害があった場合でも、データを保護しながらドローンと内蔵データストレージへの安全なアクセスを提供します。

新しく搭載した GPS タイムスタンプ機能は、撮影された画像ごとに時間と位置情報を記録することで、操縦者の報告義務をサポートするとともに、ドローンで撮影したデータの信頼性を向上させ、重要なインフラ点検業務や合法的な治安維持に活用することができます。

加えて、データセキュリティにさらなる安全性を求めるユーザーは、ローカルデータモード機能を利用することで、ユーザーが接続しているモバイル端末からのインターネットへのデータ送受信を停止できます。本機能は、重要なインフラ設備や行政機関などのプロジェクト、その他慎重な対応が求められる業務に関連した飛行において、オペレーターにさらなる安全性を提供します。

空域の安全性を高める最新技術

Mavic 2 Enterprise Dual は、操縦者の状況認識を強化し、空域の安全性を高める DJI の AirSense 技術を搭載しています。AirSense は、機体と一体型の ADS-B 信号の受信機を使用し、近くにいる航空機



やヘリコプターの情報を操縦者に自動で警告し、DJI Pilot アプリから位置警告をリアルタイムで表示します。これにより、過密した空域や複雑なオペレーション（山火事の鎮圧や災害復旧、インフラ設備監視など）で飛行しているオペレーターに更なる安全性を提供します。DJI AirSense は、ドローンの空中での安全性を維持するための重要なシステムです。

Mavic 2 Enterprise Dual は、DJI の最新の動画およびデータ伝送システムである OcuSync 2.0 動画伝送システムを搭載し、電磁干渉の高い都市部などの環境下であっても、ドローンと送信機間の接続がさらに安定しました。耐干渉性に優れたこのシステムは、2.4GHz および 5.8GHz の両周波数帯に対応しています。自動切替にも対応し、アップリンクとダウンリンクのデータストリームに異なる周波数を利用することも可能です。（日本国内は 2.4GHz のみ利用可能）

Mavic 2 Enterprise Dual には、静かで効率的な飛行を実現するプロペラとあわせて、DJI の FOC 正弦波ドライバーが採用され、約 31 分の最大飛行時間と 72km/h の最大速度を実現します²。さらに、自己発熱型バッテリーで、マイナス 10 度の厳しい低温環境であっても、ドローンは確実に性能を発揮します。

価格と販売時期

Mavic 2 Enterprise Dual は、全国の DJI Enterprise の正規代理店で 1 月上旬からの販売を予定しています。価格については DJI Enterprise 正規代理店よりご案内します。

正規代理店は下記リンクよりご確認ください。

<https://www.dji.com/jp/where-to-buy/enterprise-dealers>

Mavic 2 Enterprise Dual の新機能や特徴についての詳細情報は、下記リンクよりご確認ください。

<https://www.dji.com/jp/mavic-2-enterprise>

Mavic 2 Enterprise Dual の製品画像は、下記リンクよりダウンロードください。

<https://www.dropbox.com/sh/24l35yne9ina43j/AADUmkipBsWh63ZQd51jAqhia?dl=0>

² スポーツモード使用時には障害物検知機能は無効になります。



DJI について

民生用ドローンと空撮技術で世界をリードする DJI は、リモート操縦できるマルチコプターの実現に情熱を注ぐスタッフにより創業、運営される、飛行制御技術と手ぶれ補正のエキスパートです。DJI は、プロ、アマチュアユーザーのために、革新的なドローンとカメラ技術を開発、製造しています。DJI は、世界中のクリエイターやイノベーターにとって、空撮技術とツールがより身近で使いやすく、安全になるよう取り組んでいます。現在、北米、ヨーロッパ、アジアに拠点を構え、世界 100 カ国を超えるユーザーが、映画制作、建設業界、災害対策や人命救助、農業、管理保全など多くの産業分野において DJI の製品を愛用しています。

お問い合わせ先:

DJI JAPAN 株式会社 武藤千穂

Mail: chiho.muto@dji.com

www.dji.com/jp | facebook.com/dji.jp | twitter.com/djijapan | youtube.com/DJIJapan | instagram.com/dji_japan | www.linkedin.com/company/dji

© 2018 DJI JAPAN. 記載されている会社および商品名は、各社の商標または登録商標です。